○シェアハウス(リビング)・夕方頃

カシエル、疲れた様子でシェアハウスへ帰宅。

カシエル　「はぁー……ただいまー」

カシエル、玄関からリビングへ向かう。

ラファエル、ハニエル、キッチンカウンターに座っている。

ラファエル　「おかえりカシエル」

ハニエル　「おかえりなさい。と言っても、私も帰ってきたばっかりだけど……」

カシエル　「おう、そうか。お疲れ。ってか、お前らだけ？」

ラファエル　「いや、ウリエルとレミエルが自分の部屋にいるよ」

カシエル　「ん、そうか」

カシエル、荷物を置く。

カシエル　「あぁー！　今日めちゃめちゃ混んだなー……」

ハニエル　「うちも。なんか大きなイベントがあったらしいわね」

カシエル　「あ、やっぱり？　オシャレしてる子多かったもんなー……
そんな気はしてたけど……」

ラファエル　「おつかれさま。あ、そういえば。今日じゃなかったっけ」

カシエル　「え？　なにが？」

ラファエル　「あの子が帰ってくるの」

ハニエル　「あ、そうね。確か今日だったはずよ」

カシエル　「あぁそうか……時間的にも、もう帰ってきていい時間だな」

ハニエル　「って言って、もう帰ってきてたり……あら？」

リビングの外から、物音が聞こえてくる。

ラファエル　「もしかして……」

ガブリエル、元気よくリビングへ現れる。

ガブリエル　「ただいまー！」

ハニエル　「ガブリエル！」

ガブリエル　「や～久々の我が家～！　やっぱり落ち着くな～！」

カシエル　「長期出張だったのに元気だな」

ラファエル　「おかえり～。今回はどこに行ってたんだっけ」

ガブリエル、

ガブリエル　「話題になってる海の綺麗なところ！　すっごい綺麗だった～！
やっぱ海は陸から見るのが一番だよね～。
天界から見たらただのおっきな水溜まりだもん。
あれはやっぱり陸から見るべきだよ。いや～ほんとに綺麗だった！」

ハニエル　「へ～海ね。確かに天界から見たら、なにがなんだかよくわからないものね。あれ」

ガブリエル　「写真もいっぱい撮ったから、後で見せてあげる！
あ！　おみやげもあるよ！　皆の分！」

ハニエル　「あら、ほんと？」

ラファエル　「やった。ありがとう」

ウリエル、自室から出て階段を降りてくる。

ウリエル　「ねぇ～？　なんかすっごい楽しそうだけど、なにかあったの――
あ！　ガブリエル！」

ガブリエル　「あぁ～！　ウリエル～！」

ウリエル、ガブリエル、お互いに駆け寄り嬉しそうに抱き合う。

ウリエル　「おかえり〜！」

ガブリエル　「ただいま〜！」

カシエル　「相変わらずだな。ほい。紅茶とエスプレッソ」

カシエル、キッチンからラファエルとウリエルにカップを渡す。

ラファエル　「あ。ありがと」

ウリエル　「どうだった？　海楽しかった？」

ガブリエル　「うん！　楽しかった！　写真もいっぱいあるから見せてあげる！　おみあげもあるから！」

ウリエル　「ほんと？！　やったー！」

ガブリエル　「後で渡すね！　あ、そういえば……ウリエル、レミは？　帰ってるの？」

ウリエル　「あぁ、うん。いるよ。もう降りて来るんじゃないかな？」

レミエル、自室から電話をしながら現れ、階段を降りてくる。

レミエル　「――はーい。じゃあその予定で、よろしくお願いしま〜す☆」

ガブリエル　「あ！　レミ～！」

レミエル　「え？　あぁぁ～！　エリルちゃ～ん！」

レミエル、ガブリエルの元へ嬉しそうに駆け寄る。

レミエル　「おかえり～！」

ガブリエル　「ただいま～！」

ガブリエル、レミエル、楽しそうに息ぴったりのハンドシェイクをする。

レミエル　「ハイハイハイハイハイせーの！　イェーイ！☆」

ガブリエル　「ハイハイハイハイハイせーの！　イェーイ！☆」

ラファエル　「おぉ～……！」

カシエル　「こっちも相変わらずで息ぴったりだな」

レミエル　「そうだ！　エリルちゃん自撮りしよ！　最近ファンの子に教えてもらったアプリがすっごくいい感じなんだぁ～☆」

ガブリエル　「え！　ほんと？　どんなやつどんなやつ？！」

ハニエル　「本当に仲良しね」

ウリエル　「二人とも一番歳近いんだもんね。あ。カシエル、ボクにも！」

カシエル　「はいよ、カフェラテな」

ウリエル　「いぇーい」

ラグエル、仕事から帰ってくる。

ラグエル　「なんだ？　随分と騒がしいな」

ガブリエル　「あ！　ラグエル！　おかえり！　あと久しぶり！」

ラグエル　「ん？　おぉ、帰ってきたのか」

ガブリエル　「うん。ラグエルは今日早いね？　最近はそうなの？」

ラグエル　「いや、どうだろうな。今日はたまたま早く帰れただけかもしれない」

ガブリエル　「え～いつか過労で倒れるよ？」

レミエル　「そうだよそうだよ！」

ハニエル　「天使が過労で倒れたなんて、笑えないわよ？」

ラグエル　「大丈夫だ。そんな簡単に倒れたりしない。天使だしな。あ、そういえば……」

ラグエル、鞄からコスメを取り出しハニエルへ差し出す。

ラグエル　「ハニエル、これ」

ハニエル　「え？　あぁ、この前話してた新しいの？」

ラグエル　「あぁ、前に好評だったシリーズの新作だ」

ハニエル　「へぇ～……！　綺麗な色ね」

ラグエル　「あぁ。その色味には物凄くこだわったと言っていた」

ラグエル、ハニエル、別で会話を続ける

ラグエル　「それから、今度このコスメの広告CMを撮るんだが……」（FA）

ガブリエル、キッチンカウンターへ近づく。

ガブリエル　「カシエル、私にも飲み物ちょうだい」

カシエル　「おう、何にする？」

ガブリエル　「ココア！」

レミエル　「僕カフェモカ☆」

カシエル　「おう」

ラファエル　「ねぇ、ガブリエル。撮ってきた写真見せて。見たい」

ガブリエル　「あ、いいよ～！」

ガブリエル、カメラを取り出し弄る。

ガブリエル　「えーっと……はい！」

ガブリエル、カメラを差し出す。

ウリエル　「わー！　すっごい！」

レミエル　「キラキラしてるよ～！」

ラファエル　「へぇ～海ってこんなにきれいだったんだね」

カシエル　「お～。良く撮れてんじゃんか」

ガブリエル　「でしょ～？　一緒に行ったカメラマンの子の腕がホントによくって！
やっぱり、陸で見るからこそのものってあるよね……
天界が全てじゃないわやっぱ」

レミエル　「いいな～！　僕も行きたいな～。ここで写真撮ったら絶対盛れる！」

ラファエル「俺も行ってみたいなぁ……陸からの海見てみたいし、
本物の海の香りってどんなのか知りたい」

カシエル「天界からなら何度も見たことあるのにな。こんなに違うもんとは」

ウリエル「あ！　ねぇ！　二人とも！」

ハニエル、ラグエル、ウリエルの声に振り向く。

ハニエル「ん？　なぁに？」

ウリエル「二人もこれ――」

ウリエルのセリフに被せるようにラグエルのスマホが鳴る。

ラグエル「おっと、すまない」

ラグエル、スマホを取り出し通話に出る。

ラグエル「なんだ、どうした……あぁ……あぁ……
(ため息)……わかった。すぐ行く」

ラグエル、不機嫌そうに電話を切る

カシエル「……おっと？」

ハニエル　「もしかして？」

ラグエル　「（ため息）……あぁ、会社からの呼び出しだ……」

レミエル　「えぇー？！　今からぁ？！」

ラグエル　「あぁ……（大きく長いため息）……行ってくる……」

ラグエル、また会社へ出勤。

ガブリエル　「うわぁ……かわいそう……」

レミエル　「うん……」

ラファエル　「そうだね……」

カシエル　「こればっかりは同情するわ……」

ハニエル　「本当にいつか倒れるわね、あれは」

ウリエル　「うへぇー……」

リビングに残った六名、ラグエルが去ったドアを見つめる。